

第6学年 人権の日に向けての取り組み（2018）事前資料

指導者 五十川 直子

1 人権の日までの取り組み

○学級活動

- ・学級目標を「架け橋」とし、学校や家庭、地域の架け橋となることを目指している。そして、最高学年としての自覚をもち、態度や行動で示していくことを大切にしようと働きかけている。そこで、学期ごと、行事ごとに個々の目標を明確にし、達成に向けた努力ができる手立てとしている。また、一定期間ごとに達成状況を振り返り、現状を見つめ直す機会をつくっている。
- ・終わりの会で友だちの頑張っていたところ、お手本になっていた行動を見つけ発表している。また、行事終了後には、互いに手紙を書いてがんばりを伝え合い、他者評価から自己肯定感を高められるようにしている。
- ・日記や観察により、子どもたちのがんばり、悩み、考えなどを把握し、いじめの未然防止や児童理解に努めている。

○人権学習

- ・社会科教科書を手がかりにし、部落差別について学習する。
 - (1) 東山文化を支えた差別された人々
 - (2) 江戸時代の身分制度と差別された人々
 - (3) 近代医学の基礎を築いた人々
 - (4) 一揆を闘いぬいた人々
 - (5) 明治維新とせん民廃止令
 - (6) 水平社と山田少年
 - (7) 百日かせぎ

2 当日の取り組み（人権同和参観日 指導略案）

【資料名】 部落史に学ぶ（外川 正明氏著作、『これでわかった！部落の歴史』上杉聡）

【本 時】 差別への抵抗と闘い「渋染一揆から見えてくること」

【ねらい】 ・)差別された人々は、同等な人間としての尊厳をかけて正当な要求を掲げて闘い、撤回を勝ち取ったことから差別の不当性に気づき、人権の尊重の態度を養う。

【展開過程】

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応（・）	指導上の留意点（・）
導入	○幕末に困窮化した岡山藩のようすを知る。	江戸から離れている岡山藩の人々はどんな生活を送っていたのだろう ・争いがなく平和に暮らしていた ・城下町がにぎわい、楽しく生活していた ・一生懸命に働いていた。	ペリー来航後、房総半島の警備による出費の増大 年間収入総額銀6500貫目 年間支出総額銀7000貫目であり、財政難であったことをおさえる

<p>展開</p>	<p>○岡山藩がとった政策を考える。</p> <p>○差別されていた人々に対する厳しい内容のお触れ書きについて気がついたことを話し合う。</p> <p>○嘆願書の一部を読み、差別された人々の気持ちを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お金を多く作らせた。 • 年貢を厳しく取り立てた。 • 百姓の華やかな生活を規制し、出費をおさえた <ul style="list-style-type: none"> • さらに厳しい内容になっている。 • 百姓とはまた違う内容の法律である。 • なぜ、細かいことまで決められるのか。 • どうして着るものなどを決められないといけないのか。 • 何とか百姓と同じ生活までできないか。 	<p>【資料①】百姓・町人に対する儉約令の提示により、政策を具体的に理解させる。 年貢の確実な徴収を図ることを目的として「儉約令」が出されたことをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当時の岡山藩の人々の中には厳しい差別を受けていた人がいたことをおさえる。 • 人間らしく生きる権利が奪われていることに気づかせる。 • 武士の生活までの要求は、封建社会の中難しいため、百姓と同じ権利を主張したことをおさえる。
<p>嘆願書に込めた思いや願いについて考えよう</p>			
	<p>○渋染一揆のようすと人々の思いを見つめ直す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • こんなお触れ書きは守れない。 • 一生懸命に働いているのにひどい。 • 百姓と同じ扱いにしてほしい。 • こんな生活は嫌だ。おかしい。 • なぜ自分たちだけこんな生活をしないといけないのか。 • だれか助けてほしい。 <ul style="list-style-type: none"> • 自分たちで立ち向かい権利を守ったことがすごい。 • 一揆をおこして権利を獲得したのはすごい。 • 53の村の人々が団結をして闘ったことがすごい。 • 人権はやはり大切であることが分かる。 • 死を覚悟して自分たちの権利を守ろうとした人々の気持ちが強い。 	<ul style="list-style-type: none"> • ワークシートを用いて自分の考えをまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>保: グループに入って話し合いに参加していただく</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 人権獲得の闘いとして犠牲者を出しながらも勝利し、撤回させた事実を知らせる。 • 近代へとつながる人々の胎動であったこともおさえる。
<p>終末</p>	<p>○本時の学習の感想を書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>保: 子どもと同じように、感想を書いていただく。時間があれば、発表していただく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 人間らしく生きる権利が奪われていたことと人々が団結し立ち向かった勇気に視点をしぼる。 • 一人一人の人権を大切にするなど学校生活に生かせるようふり返らせる。